

館報みなみ

第254号 館区内の人口（R7.3.1現在 15,158世帯 29,729人）〔各戸配布〕
発行：大野南公民館（相模原市南区相模大野5丁目31番1号）
電話：042-749-2121 Fax：042-749-4795／ホームページ・大野南公民館で検索



左の二次元コードでもHPへ



第42回 大野南公民館まつり

～ 元気はつらつ！2025 やりきったぜ！～

写真でプレイバック 3月1日(土)、2日(日)。公民館2階交流ラウンジにて、
両日の様子をスライドショーにて公開中(～4月20日(日)まで)ご覧ください。

日ごろの学習成果を元気はつらつと発揮！団体同士のコラボあり！ザ・まつりでした！



■皆さま、こんにちは。新しい年度を迎えるにあたり、ひと言ご挨拶申し上げます。■日頃より公民館の運営にご協力いただき、心より感謝申し上げます。おかげさまで、公民館は地域の学びや交流の場として、多くの方々にご利用いただいております。■昨年度に有志の方々で練り上げた「令和7年度 大野南公民館振興計画」に基づき、今後十年間の中期計画を推進してまいります。この計画では、地域コミュニティの活性化、生涯学習の充実などを柱とし、地域の皆さまとともに未来に向けた公民館を構築してまいります。■この計画の実現には、地域の皆さまのご意見やご協力が不可欠です。ぜひ、公民館の事業や活動に積極的にご参加いただき、一緒に良い地域づくりを進めていきましょう。■少子高齢化が進み、すべての世代が安心して学び、交流できる環境づくりを進めます。また、社会状況が大きく変化する中で、新たな学習ニーズに対応した学びの場を提供し、より多くの方々に参加いただける機会を広げていきます。■本年度も「地域の絆を深める公民館」として、さまざまな講座やイベントを企画し、皆さまが楽しく学び、交流できる場を提供してまいります。子どもから大人まで、幅広い世代が集い、知識を深め、新たなつながりを生み出せるよう、また、令和7年度が、公民館にとって、そして地域にとって、さらに飛躍の年となるよう、職員一同努めてまいります。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

館長のあいさつ

館長 島田 欣一

★大野南公民館はR7年5月1日に設立75周年を迎えます。公民館や大野南地区、相模大野の街なみなど、写真やエピソードをお寄せください。(写真はその場でスキャンし、すぐにお返しいたします。)★

- 利用者懇談会（4/20）
- 大野南市民健康まつり（6/1）
- 花壇整備/お花の応援隊（6/7）
- 七夕飾り（6/28）



令和7年度 主な大野南公民館事業

- 高齢者学級（ふれあい学級）
- 第18回大野南クラシックコンサート（10/19）
- 秋のさわやかウォーク（11/1）
- 大野南体育祭（11/16）
- 成人学級（大野南カレッジ）
- 花壇整備/お花の応援隊（11/15）



来春

- こどもまつり（8/3）
- セミの羽化観察教室（7/25）
- 子育て講座



- 大掃除（11/29）
- クリスマスイベント（12/20）
- 焼き芋と花炭作り（1/17）
- 若者講座
- 小中学生保護者向け講座



- 春のさわやかウォーク(R8.3/21)
- 令和7年度大野南公民館まつり(R8.3/6、3/7)

公民館事業のお知らせ

大野南市民健康まつり

6/1（日）開催

協力団体・当日ボランティア募集！

第1回実行委員会
4/19(土)午後3時30分から

申込み：公民館窓口・電話・メールで
※詳しくは公民館へおたずねください

ふれあい学級 準備委員募集

学級は10月から毎週木曜日10回程度予定しています。
対象 60才以上の方ならどなたでも
活動 令和7年5月から、どんな講座内容にするか話合います。

申込み：公民館窓口・電話で



大野南クラシックコンサート 実行委員募集

第1回実行委員会 4月12日(土)午前10時から
企画から準備、当日の運営を一緒にやりませんか？
クラシック好きのみなさまの力がが必要です！

申込み：公民館窓口・電話・メールで

利用者懇談会

4/20（日）開催

- ① 10時 音楽・芸能系
- ② 14時 運動(ダンス)・文化系



場所 大会議室2(2階)
対象 大野南公民館の登録団体(代表の方1名)

- ◆公民館年間事業軽計画・公民館の利用について
- ◆サークル間の情報交換や利用者の共通の認識を深めていただく会です。

必ず1名参加してください。

団体登録手続きをお願いします!! 提出期限 5月31日まで

大野南公民館で登録している団体・サークルは毎年更新手続きが必要です。登録内容に変更がなくても、団体の最新の現状について確認させていただくため期限までにご提出をお願いします。
なお、期限を過ぎても提出されなかった場合は『一時利用停止』となり抽選申込や部屋の予約が出来なくなることがあります。早めのご提出をお願いします。

大野南サタデーキッズルーム

4/26（土）、5/24（土）、6/28（土）

午前10時30分～11時30分

ところ 和室(1階)
内容 読み聞かせ、音楽
対象 未就園児とその保護者
申込み 当日直接お越しください

無料



☎ 042-749-2121【申込・お問い合わせ】は、お電話または大野南公民館窓口へ
受付時間：午前9時～正午・午後1時～5時まで（月曜日・祝日の翌日を除く）

今年度実行委員は3名。講座実施に向けた打合せは、zoomオンラインも含め6回。仕事の後に集まるなど限られた時間の中での活動でしたが、お互いの知りたいことや実施計画について話し合いを通して相互理解が深まる、思いやりにあふれた実行委員会でした。ほっこり。

概ね若者講座は楽しかったな

20代～40代の概ね若者の集まった講座は、前半を東海大学稲垣智則氏にストレスについてご講義いただき、後半は講師のサポートを受けつつラベルワークで参加者自らがストレスについて考え、共有し、課題に向き合いました。それぞれに良い刺激を受けた講座になりました。

相模女子大学 本間先生による 子ども料理教室

2月2日(日) 参加者 24名



フライパンで作るピザは2種類。コネコネ。出来上がりはチーズのベッドみたい！

大道仮説実験教室 しゅぼしゅぼ

3月15日(土) 参加者 12名



参加者みんなで予想を立てて考える、を楽しむ実験講座。最初は緊張気味だった参加者も、講師のトークで和やかに♪

公民館の伊藤さんが退職します。また遊びに来てね。

◇大野南公民館次長として5年、そして主事として4年、通算9年をこの大野南公民館を過ごさせていただきました。振り返れば、前5年では公民館の50周年事業、まだ本市ではまだ取り組みが浅かった時代の子育て支援事業(子育てガイドなど)、最近の4年間では3次振興計画の策定など中村前館長、島田館長、長池さん、里見さん……多くの皆さんの力の結集により事業が進みました。本当に皆さんありがとうございました！！

今後も皆さんのお力により大野南公民館が益々発展することを願っております。

皆さんくれぐれもお元気で！！ 2025年3月 伊藤 裕通



働くを考える@若者講座

ストレスマネジメント



3/22
(土)

ドキドキの発表報告

令和6年度「相模原市公民館のつどい」で若者講座の事例発表をしました。前年度の実行委員が発表を行い、等身大の学びや率直な思いを語り、市内公民館参加者から共感の声が届きました。



■講座の歴史や職員の役割、今年度の予定など質問もいただきました。

ぴよぴよパパを楽しむ講座

1月25日(土)～

2月22日(土)

全4回/参加者 24名

- ① しゅじりパパから学ぶ
- ② コーヒーでパパートーク
- ③ パパのスープづくり
- ④ 子どもの安全、救急



▶来年度のぴよぴよパパを楽しむ講座では「スパイスから作るパパのカレー」をやりたいと考え中。パパあつまれ！R6年度実行委員より



第3次大野南公民館振興計画

振興計画ができました！

令和6年1月から始まった大野南公民館振興計画見直し作業では、1年2か月延べ248人の方々の力を寄せ合ってまとめあげられました。冊子は大野南公民館交流ラウンジで閲覧できます。



わたしたちは、主体的に学びあい、ともに育ち、自らを高め、地域社会に貢献します

わたしたちは、であい・ふれあいを通して 地域の交流を進めます

わたしたちは、くらしの文化を大切にするとともに、心と体の健康づくりを目指します

大野南公民館 基本理念



第2次大野南公民館振興計画の期間(平成27年から令和6年)では、地域コミュニティの活性化や生涯学習の推進に向け、地域住民で構成される専門委員会を中心に小学生を対象とした事業や高齢者向けの学級、子育て世代を対象とした交流事業、若者を中心とした企画事業の展開のほか、運営方法を見直し幅広い世代が参加した体育祭の実施など、さまざまな事業を展開してきました。

【みんなの力で】

今回の見直しにあたっては地域の物理的変化や家族やコミュニティの価値感の変化など、策定に関わった皆さんで話し合われました。当初の20年前と変化していることが結構あることに改めて気づかされました。が、一方公民館が地域づくりの拠点として市民の拠り所となって活動していくことのゆるぎない使命を確認しました。

【大野南公民館振興計画のあゆみ】

平成17年、相模原市立公民館では初めての試みであった振興計画策定が当時の旧市23の公民館で行われました。教育委員会の「相模原市教育振興計画」の中に社会教育・生涯学習の目指すものや事業目標はあったものの、地域の公民館にはありませんでした。どこの公民館も年度末に次年度の事業計画は立てていましたが、なぜその事業を行うのか、市民の生活にどう貢献するのか、公民館のミッションが明確ではなかったのです。そういう意味では、着任する職員や活動する市民に明確な共通目標ができたといえるでしょう。